

(参考)

## 愛知県における内分泌攪乱化学物質検出状況の推移

### 大気環境

	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
調査地点数	3	3	3	3
調査物質数	9	9	10	10
検出物質数	6 ( 1 )	7 ( 3 )	5 ( 1 )	5 ( 0 )

注 括弧内は、平成 12 年度は全国調査結果の濃度範囲を、13～15 年度は県内調査結果の濃度範囲を上回った物質数(内数)

### 水環境

		平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度
調査地点数		10	10	10	10
調査物質数	水質	33	23	8	8
	底質	33	23	2	3
	水生生物(魚類)	33	23	4	4
検出物質数	水質	13 ( 0 )	1 ( 0 )	1 ( 0 )	2 ( 0 )
	底質	11 ( 1 )	2 ( 0 )	0	2 ( 0 )
	水生生物(魚類)	8 ( 2 )	4 ( 0 )	0	0

注 1 調査物質は、平成 12 年度と 13 年度は異なっており、14 年度、15 年度はこれまでの調査結果を踏まえ高濃度等に検出された物質を対象にした。

注 2 括弧内は全国調査結果の濃度範囲を上回った物質数(内数)